

報道機関配付資料 安城市

件名 特別展「ごろごろまるまるネコづくし」の 開催について

令和6年6月28日

歴史博物館では、特別展「ごろごろまるまるネコづくし」を開催いたします。本展では、猫好きで知られる歌川国芳などの人気絵師によって描かれた猫の浮世絵作品から、猫の生態や人と猫との関係に着目し、単に「かわいい」だけではない猫の奥深い魅力を紹介します。

記

【展覧会】会期 7月13日(土)～9月8日(日)

場所 安城市歴史博物館 企画展示室

観覧料 一般700円(中学生以下無料)

【内覧会】日時 7月12日(金)午後2時～

【主な展示資料】 展示資料147点

- ・歌川国芳「其まゝ地口猫飼好五十三疋」
「鼠よけの猫」
- ・小林清親「猫と提灯」
- ・歌川芳藤「志ん板猫尽両めん合」

問い合わせ 安城市役所 文化振興課

電話(直通) 0566-77-6655



安城市は持続可能な開発目標(SDGs)を支援しています。



安城市LINE
公式アカウント
友だち募集中

特別展

ぐるぐるまるまる

ネコくし



とざいとーざい
じゅんじゅんまるまる
ネコくしにや

会期: 令和6年7月13日(土)

~9月8日(日)

会場: 歴史博物館

1階 企画展示室

観覧料: 700円

(中学生以下無料)

【開催趣旨】

人間の身近なパートナーとして
犬と猫はよく知られています。

なかでも美術や文学に表現され
るのは圧倒的に猫が多いようです。

日本では猫は『源氏物語』にみられるように宮中で寵愛され、
近世になると肉筆画や浮世絵の題材として数多く登場しま
した。気まぐれで複雑で非合理的で、ときにとびきり甘えん
坊な美しい動物は今も昔も人々を惹きつけました。

本展覧会では、猫の浮世絵を中心に、猫の生態や人と猫
との関係に着目し、単に「かわいい」だけではない猫の奥深
い魅力を紹介します。



【展示構成】

第1章 猫の姿

第2章 猫と暮らせば

第3章 猫七変化

第4章 おもちゃ絵猫

※展示資料147点



第1章 猫の姿

猫は完全肉食性で、野生では鳥や
ねずみ、虫などを狩猟し食べて生きて
います。完全室内飼育が多くなってきて
いる現在でも、自由に家の内と外を出入りする猫が狩り
を行う場面を見た人もいないのでしょうか。そして、
瞬発力を必要とする狩りに備えるため、猫は多くの時間
を睡眠に費やします。猫の語源は「寝る子」と言われるく
らいです。

ここでは、そんな猫のワイルドで自然な姿を描いた作品
を中心に紹介します。



歌川国芳 鼠よけの猫 部分(個人蔵)



無款(小林清親) [猫と提灯](渡邊木版美術画舗蔵)

第2章 猫と暮らせば



猫好きに男女の区別はありませんが、美しい女性と猫の組み合わせは浮世絵に数多く見られます。江戸時代では、ねずみ退治のために猫を飼いました。家庭を預かる女性と猫は実生活でもパートナーだったことでしょう。着物の裾に猫がじゃれつくのもリアルな仕草です。

ここでは、歌川国芳や歌川国貞、月岡芳年などの浮世絵から、猫と一緒に暮らすことで見えてくる魅力的な生活の一コマを紹介します。



鈴木春信 水仙花(個人蔵)



無款(鳥文斎栄之)
風流三幅対[女三宮](個人蔵)



歌川国貞(三代豊国)
美人合 春曙(個人蔵)



月岡芳年 風俗三十二相 うるささう
寛政年間処女之風俗(個人蔵)



歌川国安
閨中道具八景 鏡台の秋月(個人蔵)



第3章 猫七変化



著しい変化が繰り返されることを「猫の目のように変わる」と言います。これは、周囲の明るさに応じて瞬時に猫の瞳孔が開いたり、閉じたりすることからそう言われるようになりました。また、夜行性で、夜に瞳が光っているように見えるという特徴から、人々は猫を人知を超えた神秘的な存在と感じ、化け猫や猫又という妖怪が生まれました。化け猫は歌舞伎の題材や読本の題材にもされました。

ここでは、様々な姿に変化する猫の面白さや不思議さに迫っていきます。



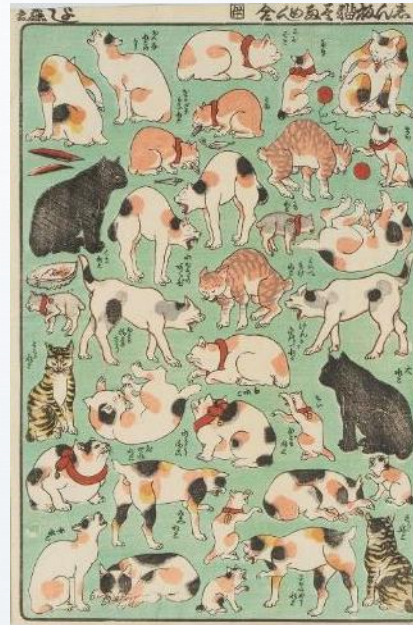
歌川国芳 五十三駅 岡崎(個人蔵)

第4章 おもちゃ絵猫



江戸後期から明治前期にかけて「おもちゃ絵」が流行しました。実際に切り貼りし遊べるものや、双六、社会の道德や事象を知ることができるものなど多種多様です。これらの作品は子どもが親しみやすいよう、動物を擬人化したものが少なくなく、特に歌川国芳門人の芳藤は「おもちゃ絵芳藤」と呼ばれるほど活躍し、師匠と同様に猫を多く描いています。

ここでは、おもちゃ絵に登場する妙に人間臭い猫の姿を通して、当時の人々がどのような生活を営んでいたのかみていきます



歌川芳藤
志ん板猫尽両めん合(個人蔵)



四代歌川国政
志ん板猫のそばや(個人蔵)

※特別展記念講演会 (要申込)

※往復はがきまたはあいち電子申請システムにて申込



日時: 令和6年7月13日(土)

午後1時30分から

タイトル: 「浮世絵の猫ブーム」

講師: 稲垣進一氏

(国際浮世絵学会常任理事)

日時: 令和6年7月20日(土)

午後2時から

タイトル: 「ネコはどうして描かれたか」

講師: 月本寿彦氏

(福島県立美術館副主任学芸員)

※関連イベント



猫のステンシルで小物づくり体験
& 猫のうちわづくり体験

日時: 7月13日(土)～9月8日(日)9:00～16:30

参加費: 200円～500円(小物による)

まるごと猫づくしクイズラリー

日時: 7月13日(土)～9月8日(日)9:00～15:30

参加費: 1キット200円(中学生以下無料)

※別途観覧料必要

落語会—ごろごろまるまる猫噺— ※要申込

日時: 8月3日(土)14:00～15:00

定員: 40人 対象: 小学4年生以上

出演: お好味家喜楽氏(前座: 永頃亭夢雀氏)

猫の回り灯籠づくり ※要申込

日時: 8月12日(月)①10:00～12:00 ②13:30～15:30

定員: 各10人

対象: どなたでも(小学校低学年以下は保護者同伴)

参加費: 2,000円(材料費)

「世界猫の日」割引

8月8日(土)1日限り、
観覧料100円引き

「きもの・ゆかた」割引

会期中、和装でご来館の方
観覧料100円引き

※ナイトミュージアム 午後8時30分まで開館延長

(入館は8時まで)

期間: 令和6年8月30日(金)～9月1日(日)

内容: 歴博・ギャラリー・埋蔵文化財センターが午後8時30分まで
開館延長。ステージイベントやマルシェなども開催します。

8月30日(金)午後7時から夜間展示解説も開催します。



博物館ナイトツアー

内覧会: 令和6年7月12日(金)午後2時～